

新千里東町地域自治協議会 第8回理事会開催

理事会日程：12月21日（日）10：00～12：30

場所：東町会館2階集会室

議案1. 第7回理事会議事録の確認

2. 部会・委員会の活動報告と審議事項

(1) まちづくり計画策定部会

・第17回まちづくり部会報告

(2) 防災部会

・東町第2回総合防災訓練（11月16日）結果報告

(3) 環境委員会

・第6回環境委員会報告

(4) 近隣センター移転計画対策委員会

・ワークショップの開催結果（12月14日）

・近隣センター地権者との話し合い結果（12月17日）

(5) キャンドルロード実行委員会

・全体反省会報告

(6) 新春交歓会実行委員会

・新春交歓会実施計画（1月10日12：00～）

3. 自治会・団体間の連絡と相談

(1) 校区福祉委員会

・もちつき大会実施結果と協力への感謝

・賛助会員（賛助会費）募集に係る各自治会の協力をお願い

(2) 公民分館

4. その他の報告・連絡事項

(1) 自治会への人材派遣要請及び協賛金依頼の方法について

(2) テーブル（東丘小階段下）・スリッパ（コミュニティルーム）の更新について

(3) 赤い羽根共同募金集計結果

5. 第9回理事会日程 1月18日（日）10：00～12：30 東町会館2階集会室

以上

理事会出席者へのお願い

1. 理事自身をご出席できない場合は、必ず代理者の出席をお願い致します。
2. 理事各位は自治会・諸団体を代表する立場で理事会に出席頂きます。この理事会での議論の内容を貴団体内関係者に周知頂くとともに、次回理事会議案の内、関わりのある案件については、貴団体内で話し合いの上ご出席ください。
3. 理事会は情報公開を基本としております。東町に関係のある人であれば、理事・監事以外のどなたでもオブザーバーとして出席頂くことができます。
4. 理事会等で議論した内容は、奇数月発行の広報紙「ひがしおか」及び協議会専用ホームページ（higashimachi.jimdo.com）に掲載しますので、ご利用ください。

第7回新千里東町地域自治協議会理事会議事録

1. 日 時：2014年11月16日（日）13：00～14：30

2. 場 所：新千里東町会館2階

3. 出席者

*役 員：小川会長、河野昭・橋本両副会長、清水千・勝久両会計

*理 事：総数20名中、出席者16名（上記役員5名を含む）

西田・久乗・倉垣・平石・呉・富田・古橋（以上自治会）、水野・原・寺村・
清水博（以上諸団体） 欠席理事：下野、赤井、十河、山地

*監 事：上田、桑原

*地域オブザーバー：河野希、今井

*事務局：玉富・山田

*オブザーバー：藤田・林・石塚（以上豊中市）

4. 議事

4-1 第6回理事会議事録の確認

・配布資料について説明がなされ、特段の意見なく了承された。

4-2 各部会・委員会の活動報告

(1) 防災部会

- ・10月度防災部会において、防災マップと防災マニュアルの作成に向けて2つの小委員会を設置、2月をめどに検討することとし、第1回委員会を実施した。
- ・災害対策において東町と各自治会が重なりあうことのないようきちんと整理して、対策本部組織図を作る必要があるとの意見が表明された。
- ・11月16日に東町として第2回防災訓練を実施し、約200人の参加があった。
- ・協議会の豊中市自主防災組織登録に関し、先月各自治会にお願いしていた意見集約の結果を報告願ったところ、登録に反対するものではないが今回必ずしも自治会としての意見を集約したと言えるものではないとの意見をも考慮した上で、登録することについて承認された。

(2) 新千里東町キャンドルロード実行委員会

- ・配布資料に基づき、10月25日に実施したキャンドルロードを振り返り、約3,500人の参加と事前準備を含めて300人を超えるボランティアの協力があり、東町の多くの住民・団体が交流する機会となったとの報告がなされた。
- ・次年度以降の実施については、年内に実行委員会による反省会を開き検討することとし、各自治会にはその前に自治会内の意見を集約頂くこととなった。

(3) 環境委員会

- ・ジェイグラン脇の危険側溝対策について市や府、施工業者と協議を進めている、また、府営住宅新棟駐車場からの道路と市道との交差点の安全対策について、市に提出した要望書に基づき、対策が進められていくと考えている旨報告があった。
- ・もみじ橋通り沿いに水飲み場、休憩椅子を設置する案件について、住民のどの程度の意見に基づき検討したのか疑問があり、進め方がわかりにくいとの意見があった。
- ・周辺自治会の意見を求める方法について、プランを事前に十分周知した上で意見集

約しなければ、住民の意見とはならないのではないかとの疑問が呈せられた。

- ・ 掲示版付近の休憩用の椅子について、他の場所で不要になったものを貰い受けた経緯がある。豊中市と相談し安くて良いものを検討する必要があるとの意見があった。
- ・ アダプト清掃の鍵の管理等を各自治会に輪番制で負担願う事は疑問、無理ではないかとの指摘があった。

(4) 近隣センター移転計画対策委員会

- ・ 近隣センター移転計画に対し、9月の住民説明会の結果などを踏まえ、計画変更等の要望を市に提出した。今後、新地区会館に関するワークショップの開催や地権者との話し合いの場を持つなどして、より良い計画となるよう検討を進めていく旨報告があった。
- ・ 新地区会館の試案図面について現時点での扱いを説明し承認された。
- ・ 第1回ワークショップの開催及び地権者との話し合いの場を持つことについて諮ったところ異論はなく承認された。

(5) 新春交歓会実行委員会

- ・ 新春交歓会を来年1月10日(土)11:00~開催する(既に説明してきた通り)。
- ・ 実施のため赤井副会長を委員長とする実行委員会を設置することについて諮ったところ異論はなく承認された。

4-3 自治会・団体間の連絡と相談

(1) 公民分館より、人権講座の開催案内があった。

(2) 福祉委員会より、世代間交流ともちつき大会の予定について説明があった。

広報誌「ひがしおか」1月号の表紙を飾るため、もちつき大会に集まる大勢の人による人文字を東丘小グラウンドに描き、高所から撮影したいので協力方要望があった。

5. 次回定例理事会：12月21日(日)10:00~12:30 東町会館2階集会室

以上

第17回まちづくり計画策定部会議事録

日時：2014年12月5日（金）19:00～21:20

場所：東町交流室

出席者：清水博文、河野昭一、水野和美、原秀子、森麗子、山代将雄、福岡正輝、武藤正治（記録）

欠席者：呉波、太田博一、今井琢磨、十河秀敏、萱野正勝（敬称略）

1. 報告事項

初参加者として山代さん（ローレルコートあかしの丘自治会副会長）の紹介があった。

(1) 東町キャンドルロード開催の報告

- ・「経過概要のまとめ」で説明
- ・「反省並びに感想のまとめ」に基づき説明
- ・「決算報告書」に基づき概要報告。

(2) セルシー広場クリスマスツリー点灯式への協力について報告

- ・セルシー商店会からの協賛として商品券100枚（5万円相当）とキャンドル資材準備提供
- ・東町住民参加受付テントでのキャンドルの設置作業の参加を募った。
- ・結果は参加者が少なく、人手が足りずに準備に手間取った。
- ・イベントは点灯式では商店会の会長と東町の子供によるセレモニーとセルシー階段でのキャンドルの点灯並びにゴスペルのコーラスもあり盛大に執り行われた。

参考資料：キャンドル作品写真を回覧

(3) ジェイグランへの自治会結成の動きについて

- ・9/13（土）管理組合総会で自治会結成について承認され、結成準備委員会代表に伏原氏（管理組合 理事長）が就任された。
- ・新年度には正式に発足予定であるが、協議会にはオブザーバーとして参加していただくこととした。

2. 協議事項

(1) 新千里東町1丁目マンションへの対応について

「東町地域自治協議会への加入条件の変更とお願い」という文書試案

これまで、ザ・千里タワー、ザ・千里レジデンスの当協議会への加入を働きかけてきたが、その困難性が判明した。その後協議会理事会でグループ単位での加入の承認も得られたので、上記文書を作成した。ついてはその内容について検討された。

- ・住民への周知をどこまでどういう方法で行って貰えるか？は不明であるが文書依頼を進める。
- ・加入はグループ（3～5名程度から）の団体とする。ただし、マンション名とグループ名を明記して貰う。

① その他意見として

- ・個人の加入は可能性高いと思われる。
- ・文書の記載事項の主行事について、参加とその分担や役割なども加えた方が望ましいのでは？との意見が出された。が、まずは関心を持って貰い、参加して貰うのが望ましいのではとなった。
- ・東町の自治活動、行事などを今後ともPRし関心を高め、それへの参加に期待する。
- ・自治会未加入マンションをひとつのグループ団体として編成するという意見も出された。
- ・行事によっては該当の理事長次第で参加の動向も大きく左右する可能性があり、繰り返し勧誘する
- ・ラジオ体操グループに参加している人もあり、そのような諸団体との接触を通じ参加依頼する。

②自治会加入者の減少問題について意見が出された。

- ・夏祭りの時に大きな看板を出し、自治会PRと加入を勧める。
- ・会員証を作り、提示を求める。
- ・会員・非会員の差別化が必要である。(ある子ども会では非会員の参加者には参加費を求めている、他のPTAでも未加入会員ではその都度費用を徴収している)

など、意見が出された。

この文書試案については承認された。

(2) UR東町団地及び府営東町住宅の建替え計画について

－要介護高齢者施設の誘致の見込みを含めて－

- ・UR東町住戸1,522戸中、高層4棟(27～30棟、600戸)の耐震問題で建替え工事について具体的な段階となった。
- ・第1期では27棟と集会棟を、第2期は28、29、30棟で、完成は平成31～32年完成の予定。
- ・12月22日(月)にUR側から建替え後のプラン案図面の提示と説明会がある。
- ・介護施設(デイサービス、介護支援派遣施設、通所施設など)以外にも子育て施設も含まれる予定。これらの施設は地域に開放されたものとなる予定。
- ・別途低層棟(1～26棟)についても改装の要望をしている。
- ・3月29日(日)東丘小学校体育館で居住者の意向聞き取り会が実施され、居住の希望有無についてヒアリングされる予定。
- ・駐車場スペースの減少などの検討も考慮されている。
- ・次回の部会(1月9日)には会合結果を報告し、部会での要望等を検討して貰うこととなった。

(3) その他

「協議会設立3年経過後の振り返り」について提案

①振り返りの課題

②地域の取組と市の支援(コミュニティー政策室作成の「みんなで作る地域コミュニティーと地域自治組織」の中から)の図

③ニュータウン再生へ新法(12月4日 日本経済新聞記事)

- ・地域自治協議会についての反省と今後の課題について検討する時期と場所が必要ではないかとの提案
上記資料に基づき検討の必要性について討議された。
- ・協議会会員の意義や役割について
- ・後継者づくり
- ・ボランティアポイント制、会員のメリットへの取組など
まちづくり部会として取り組めるテーマを絞っていくこととなった。

次回は1月9日(金)19時から交流室とする。

以上

2014年度東町防災訓練実施結果

2014年11月16日(日)

NO	訓練項目	実施結果概要(事務局)	防災部会アンケートの回答 (回答数88件、うち意見ありが19件)
1	自治会(管理組合)の避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・細部まで指定しなかったが、それぞれ人数・車椅子・幼児の参加など訓練の主旨に沿って実施された。 ・一部自治会は計画の避難時刻より早く到着した。地震発生時刻を明示する必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が少なかった。 ・マンション内からの参加が少なかった。 ・もっと多くの人に参加すべき。 ・住民がもっと関心を持つように考えてほしい。 ・呼び掛け、説明が悪い。 ・恥かしながら、PR不足で集合に手間取った。 ・この先何か起きることがある。大変意義あること。
2	車椅子利用者の避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの自治会において実施された。 ・訓練参加者の声をきく必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はよくわからなかった。
3	災害対策本部設置訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・各班(情報・物資・救助救護・避難誘導)が何をすべきかを今回は決めてなく、訓練にも含めてなかったが、次回の訓練においては最重要課題となる。 ・本部要員が協力してくれたので短時間で設営出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声が小さく聞こえなかった。 ・呼び掛け、説明が悪い。 ・災害対策本部用屋外テントについては目立ち具合も含め好評であった。
4	煙体験、AED・消火器の取扱い訓練、防災資機材の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・4班編成の人数が平均化してなかった。 ・AED訓練は他の訓練より時間がかかるので、組み合わせに工夫が必要。 ・防災資機材の説明は有効であり、参加者が毎年変更となることから、毎年実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各マンションにAEDがあれば。 ・時間が短かった、実際の体験をしたかった。 ・初体験でよかった。 ・AEDをもう少し詳しくお願いしたかった。 ・目も開けられない事態(煙体験)は、経験・訓練することの大切さを学んだ。訓練は役に立つ時がくる。 ・理解しやすい話し方だった。
5	危機管理室長の講話	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容でよかったが、音量不足であったことが残念であった。 ・阪神淡路震災時等の経験から避難所の運営の難しさ、厳しさを話されたことを今後のマニュアル作りに活かす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい話し方だったが、少々長過ぎた、音量が小さく聞こえなかったなど会場設営面から課題が残った。
6	防災訓練全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・合計で200名弱の参加があったことは大きな成果であるが、住民意識の高さというより、訓練に協力された各自治会の役員等の努力の賜物であり、謝意を表したい。 ・避難者の受付を女性防火クラブにお願いしスムーズに行ったが今後もそれで行うのか検討を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の流れの予備知識が欲しかった。 ・今回の訓練については理解出来た。 ・今後も継続をお願いする。 ・最初の話が長い。 ・実際訓練が必要。講習内容は良くわかった。 ・声が聞き取れなかった。ハンドマイクの使い方の工夫を。 ・もう少し時間をかけて詳しくしてほしい。
7	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭開催日の実施に無理があったのではとの意見あり、また各自治会の防災訓練がなされたばかりであり適当であったかとの意見もあった。日程については要検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災機材など揃っているのが安心だが、いざという時に使えるように、備品と同様、普段の行事でも使用した方が良いのでは。 ・自分のマンションでの訓練が必要と思った。

北消防署アンケート結果(回答数87件) 2014年11月16日(日)

質問内容・選択肢	回答数
1. 訓練内容について	
a 良い	62
b やや良い	19
c 普通	8
d やや悪い	0
e 悪い	0
2. 訓練内容を理解できたか	
a 理解できた	67
b どちらかといえば理解できた	20
c どちらかといえば理解できなかった	1
d 理解できなかった	0
3. どの訓練がうまくできたか。	
a 消火訓練	62
b 救助救出訓練	3
c 避難誘導訓練	10
d 非常食の炊き出し訓練	0
e 応急手当訓練	9
f その他	9
(AED・1、煙・7、防災グッズ説明・1)	
4. 今後、訓練内容として取り上げてほしい内容(複数回答可)	
a 防災に関する講演	25
b 消火訓練	16
c 救助救出訓練	18
d 避難誘導訓練	16
e 家具転倒防止法	24
f 応急手当訓練	36
g 非常食の炊き出し訓練	11
h その他 (AED)	1
5. 自主防災組織の活動の活発度	
a 活発に活動している	19
b どちらかといえば活発に活動している	15
c 普通に活動している	30
d ほとんど活動していない	17
e 活動していない	3
6. 自主防災組織が活動していない原因	
a 専門知識を持った指導者がいない	10
b 防災意識が低いのではないか	11
c 高齢化が進んでいる	13
d その他 (連絡網がない)	3

7. 意見・感想・希望等

・マンションでも訓練したほうが良いかと思った。

・防災倉庫の鍵、わかりやすい場所に保管し、明示することが大事かと思いました。

・自助の方法、特に各団地単位でどうすれば良いか。

・強制力のある訓練が必要ではないか。

・今後、自助・共助の努力をしていきます。

・最初の話がやや長かったので、後にしても良かったかも。

・参加するたびに防災意識は高まり、時がたつと薄れるので、定期的な取り組みと多くの方の参加の機会を増やすことが必要と思います。大変良い体験でした。

平成 26 年度環境委員会（第 6 回定例会）議事録

開催日時：平成 26 年 12 月 2 日（火）19：00～21：00

場所：東町会館 1F 集会室

参加者：和田園子、河野昭一、上田稔、小川浩一、石丸誠子、福岡鈴子、今井琢磨、
和田彪、山代将雄、尾崎恵子、浦川京子、ジェイグランから藤村展子、
武藤正治（記） 計 13 名
欠席者：太田博一、福岡正輝、久乗六甲の 3 名（敬称略）

会議議題

1. もみじ橋通りのベンチ・水飲み場の設置について

- ・水飲み場の必要性については、疑問視する自治会もあったとの報告あり。
- ・高齢者の買い物等の休息の場としての必要性については理事会でも認知されているとの認識で、具体的な内容について検討を行った。

	第 1 候補	第 2 候補	第 3 候補
場所	グラウンド入り口	もみじ橋左右	桜ヶ丘入り口 3 角スペース
施設	屋根つき	必要ない	第 1 候補地と同様
ベンチ	長椅子(携帯荷物置き必要) 背もたれ	同左	同左 同左
地面	土面の改良(例えばI・L・B)	必要ない	第 1 候補地と同様
その他	掲示板の移動 四角い椅子の撤去		

- ・上記内容で妥当な商品と経費を市に試算してもらう。
- ・他の施設での不要な椅子の有無を市に問い合わせ、採用することも考慮する。

2. こぼれび通りの水飲み場の設置については議論とならなかった。

- ・花木への水遣りの便宜が主目的で提案したことでもあり、もみじ橋通りと併せて検討する。
- ・長いホースを使用しての配水の可能性（テニスコート又は中央公園）や現在、実施されている花の高架台への給水時に併せて遣って貰えないか等を担当部署に問い合わせる。同時にアジサイを咲かせる会の代表（福岡鈴子氏）に来年度の環境委員会の予算に水やりに必要な用品等を組み込むことを想定して概算を出してもらう。

3. ジェイグランと檜の木橋下の安全対策について

- ・11月13日（木）市の道路維持課と関係者がとの現場立ち合いの報告をした。
- ・12月2日（火）に行政で橋の側面にある樹木の伐採撤去とひこばえの剪定が終了した。

4. 長谷池藻の清掃の日程が平成 26 年 2 月 14 日（土）に決定した。

- ・藻の繁茂が激しくなっている。

5. 桜ヶ丘南側雑木林の整備の日程が 12 月 4 日、5 日に行われる。

- ・倒木や枯れ竹、倒木しそうな樹木の処理など

6. みどり保全の会の状況について

- ・現在 3 名の応募者であり、進展は見られなかった。
- ・自然観察のイベント企画を進め関心を深めることなどや会員の応募案内を掲示して行く。
- ・初めの活動は来年の 1 月予定。
- ・2 月の長谷池の清掃日にも PR し、桜ヶ丘南雑木林の整備に向かって進める。

7. アダプト清掃担当について

- ・交流室で担当を担うことも可能とのことであった。
- ・現在、参加して貰っている自治会の中で輪番としているが 10 月 11 月と旨く運営されたが、12 月度の自治会は誰も参加予定がないため、臨時に事務局が担当する。
- ・業務内容は当日の事前準備として学校の東西正門や幟の掲揚や倉庫の開閉と用具の出し入れの業務そして、スタート時での注意事項や挨拶とスタート後飲み物の準備及びごみの収集整備、用具の納入整備がある。終了後、市への結果報告業務となる。
- ・アダプト清掃はアダプト清掃に共鳴し、集まって頂くメンバーでその役を担当して貰った方が良いとの意見。
- ・その業務の主業務はアダプト参加メンバーで担って貰うが、市への報告業務については交流室で分担して貰うこととなった。

8. その他

- ・ジェイグランの南側車道のフェンス設置についてはジェイグラン自治会の発足もされていない状況であり、要望待ちとなっている。
- ・シティハウスの住民が直接市に電話をして市の管理する土地の樹木の剪定を依頼し、市は協議会に連絡することなく作業を行ってしまった。作業中に別の階の住民から視界の問題で剪定しないでほしいとの要望もあり、いったん作業を中断する。というような事態が発生した。

本来ならば、市は住民から直接連絡をもらったなら、自治会を通すなり、交流室を通じて協議会もしくは環境委員会に連絡をするよう促さなければならなかった。もとより、この地域自治協議会の仕組み、役割がまだまだ東町全体に周知されていないこともあり、新聞「ひがしおか」や各自治会を通して住民の皆さんに理解してもらうよう努力していく必要がある。

改めて、地域自治協議会の小川会長と環境委員会和田委員長の連名で各自治会に手紙を配付する。

次回の開催は 1 月 8 日（木）19 時～東町会館 1 F

以上

キャンドルロード実行委員会・全体反省会議事録

新千里東町地域自治協議会会長
キャンドルロード実行委員会副委員長
小川浩一

開催日時：2014年12月10日(水) 19時～

開催場所：東町会館2階集会室

参加人数：17名

- ・詳細：協議会役員・理事・事務局：小川、河野、勝久、原、清水、武藤
- ・キャンドルロード実行委員会役員：福岡鈴、早田、杉本、橋本(上記：小川、勝久、武藤も含む)

反省会冒頭、小川より挨拶の後、以下の事が委員全員に報告された。

●報告事項

1. 武藤実行委員長より挨拶と御礼。
2. 小川より終了状況報告と総括。
3. 勝久より決算報告。(一部追加修正を含んだので口頭で説明。12月度理事会にて要修正報告)
4. 出席頂いた自治会、諸団体の委員全員に反省点、今後の課題、よかった点、もし次年度も開催するとした場合の要望を順次意見聴取。

●協議事項

1. 次年度以降の開催に向けては、各自治会の役員が年度ごとの輪番制であり、今この場では回答出来ないとの意見が多数を占め、全員の理解を得られた。
従って次年度以降の開催の可否については、今反省会にて集約した意見を協議会の理事会に報告、審議する事とした。
2. 開催時期(今年度は10月25日)は適切であったであろうとの意見で一致した。
暑くもなく、寒くもない適切な時期である。
しかしながら、従来からある地域行事とスケジュールがバッティングしない時期調整を行って欲しいとの注文が複数の委員よりあった。
3. 今期の開催に於いての反省点、問題点、今後への課題とよかった点
(別紙にて報告)

以上

キャンドルロード実行委員会・全体反省会

2014年12月15日

新千里東町地域自治協議会会長

キャンドルロード実行委員会副委員長

小川浩一

今期の開催に於いての反省点、問題点、今後への課題とよかった点

●反省点、問題点

- ・まずは開催主旨を明確にする必要がある。
- ・開催時期決定、委員会立ち上げ、全体計画の提示が遅かった。(複数意見あり)
- ・イベントの告知方法が下手。
- ・参加に偏りがあり、特定の人に過度の負担が掛かる。(複数意見あり)
- ・ブロック、地区によってはかなりの負担になる。
- ・管理組合、自治会、地区によって参加意識、参加スタンスの温度差が激しい。(複数意見あり)
- ・次年度開催について肯定的な意見は、UR自治会からは皆無である。
- ・各自治会に於いては、次年度の開催はその時の役員次第である。
- ・協議会より各自治会への意思伝達をスムーズに行えればよかった。
- ・役員会で決定した事が実行委員にしっかり伝わらなかった。
- ・子供たちが一生懸命書いたコップをすぐに破棄するのはもったいない。
- ・全体反省会が遅い。

- ・子供の火遊びが危ない。
- ・沿道の掃除が大変である。
- ・溶けたロウが道路に落ちる事によって足元が滑るので危ない。
- ・年配の人には、しゃがんでの継続作業は労力がかかる。
- ・場所によってはブースを作れない。

●要望

- ・もっと若い世代の参加が欲しい。
- ・皆が共通認識を持てるようにする。(複数意見あり)
- ・皆が同じスタンスで取り組めるとよい。(複数意見あり)
- ・開催して良かった点をアピールする。
- ・自分で書いたコップの配置場所がわかると良い。
- ・ブロック毎に自治会、団体の表示があればよかった。
- ・人と人とを繋げるムードを作る。参加への声掛けが重要ではないか？
- ・キャンドルロードを叩き台として、もっと皆が楽しめるイベントへと発展させる。
- ・後片付けが手際よかったので、20時半までイベントを行ってもいいのではないか。
- ・ポスターに消灯時間も提示してもらいたい。
- ・紙コップへの絵描きが必須だと思っている人も多く、もっとシンプルに楽しみながら出来るとよい。

●よかった点

- ・メイン会場(近隣センター)、飲食ブースの設置と賑わいがよかった。
- ・日頃交流の無い自治会、団体、地域住民が、ひとつの目標に向かって協働作業を行い繋がった事がよかった。

●協議会会長としての見解

参加頂いた委員の方々、各自治会、各団体の方たちは、それぞれに負担や労力の不公平感を感じながらも、参加、イベントの開催自体は概ねよかったと感じている。

協議会として次年度開催の可否については、皆さんからの意見、要望をもとに審議し、総会にて全体計画、全体予算を示す必要があり、これを避けたら皆からの信用を失いかねない。

税金と地域の方たちからの協力金で運営している以上、常に手順は大切にすべき。

全体計画、全体予算の明示と開催主旨の周知は必須。

初年度というも事あり、数々の不手際、失敗、反省点もあったが、失敗の中から改めるべきを改めて、次年度以降に活かしていく事も可能である。

しかしながら、地域間(各自治会・管理組合、各団体、一般参加の方々)の温度差、労力負担の不公平感を改善する方策が現段階では見出せないのが現状であり、まずはこの点を先にクリアしなくては先に進めないと思われます。

参加頂いた委員の方たちも概ね同意見であった事は付け加えておきます。

以上

近隣センター移転計画対策委員会報告

●近隣センター建替え計画に関するワークショップ

日時：2014年12月14日（日）13:00～16:00 場所：東町会館2階集会室

1. 小川委員長挨拶

数ヶ月に亘り、近隣センター移転計画対策委員会にて協議を重ねてきましたが、新近隣センターと新地区会館は東町全体、地域住民にとって重要な共有財産です。一人でも多くの方の意見、要望を頂戴する事で、みなさんにとって少しでもよりよい方向に進む事が出来たらと願っております。

2. 参加者からの意見（主なもの）

(1)近隣センター

- ・公開広場スペースの確保
- ・郵便局、食品スーパー（青葉）店舗の継続
- ・現在ないが次は欲しい店舗の確保・充実
- ・近隣センターの位置を現在の場所を継続、移転は反対
- ・母親などの働ける場が欲しい
- ・道路計画は現在のように完全歩車分離方式に
- ・医療センターに外科がない

(2)新地区会館

- ・まちの中心、今のままが絶対に良い
- ・小学校に近い場所
- ・集会室はパーテーションで区切り、自在な利用可能に
- ・街角広場と交流室は会館の入口に、住民が入りやすいように
- ・外から見て誰でも入りやすいオープンカフェのようなイメージ
- ・我が城でない、ルームシェア的な利用に
- ・稼働率の低い目的の施設は作るべきでない、共用の部屋の一時転用
- ・会館内はすべてバリアフリー
- ・多目的トイレ
- ・中高生の居場所、学習室（自習室）が欲しい
- ・朝食・昼食が食べられる、買える場になれば高齢者も若い世代も便利
- ・街角広場の運営は有償ボランティアで
- ・保育施設、一次預かり場、保育者の情報交換・提供の場
- ・図書室をつくれば古本が提供される
- ・防災用品、祭事用品置き場

近隣センター移転計画対策委員会報告

●近隣センター建替え計画に関する地権者との話し合い

日時：2014年12月17日（水）19:10～21:40 場所：東町会館2階集会室

1. 出席者

- ・地権者：丹羽、内田、坪井
- ・委員会：小川・高野・清水・河野・福岡・河村・石丸・太田・鈴木・山田

2. 参加者からの意見（主なもの）

(1)地権者側の理事会における計画の進捗状況

- ・委員会の要望は、準備組合の全体合意を崩す内容であり、要望に沿うためには再合意が必要。そもそも可能かどうか市としては急ピッチで検討を進めている。移転建替え、部分移転など基本的なプランをどうするかについて、年明けには何となく方向を示したいが、最終的な結論を出すには数カ月要する。
- ・歩車分離の要望について、歩道橋設置方式は金がないので無理。先に示しているコの字型対面通行の道路計画はやめる方向で検討しているが、決定ではない。歩行空間の設置と2方向避難の問題を検討する。
- ・近隣センターの商業環境の維持は極めて厳しい。千里という場所が大阪市内に近過ぎる、狭いエリアで全ての生活に必要なものを完結させる町は作りにくい。現在の商業者は経営を続ける意向が強く、どのような商業をするかは商業側が決めることで、要望を聞くことは難しい。

(2)意見交換

- ・商業者と住民は共存共栄できた。どこかで落とし所を見いだせないか。
- ・商店の移転を前提としているが住民の声の多くが見直しを求めている。
- *30社近いデベロッパーなどに投げかけたが、自ら商業フォルダーになって受注に応じようという企業は全くなかった。
- *現在地での建替えは金が足りない。スーパーを営業しつつ建替えるのが基本にあることも1つの理由。
- *青葉をのこすかどうかはオーナー判断であり、最後まで分からない。

(3)提案

- ・オープンスペースは、市としても重要性を再認識したが、ニュータウン以外にはないもの、行政が持つのは難しい。更に議論して欲しい。
- ・街角広場、民設民営、文化として根付いている。議論して欲しい。

2015年1月新春交歓会

1. 2015年新春交歓会式次第

1月10日(土) 12:00~15:00

進行	新千里東町地域自治協議会副会長 赤井 知之
祝い太鼓 (好天の場合は広場にて)	和太鼓クラブ 八鼓
祝典演舞 (好天の場合は広場にて)	南京玉すだれ
新年の挨拶	新千里東町地域自治協議会会長 小川 浩一
懇親会	
乾杯	新千里東町地域自治協議会理事 水野 和美
各自治会・諸団体の自己紹介	
懇親会閉会の挨拶	新千里東町地域自治協議会副会長 橋本 宏三

2. 参加者

- ・地域自治協議会参加団体 (38)、各1~3名、一人当たり1千円の会費
- ・協議会オブザーバー (豊中市コミュニティ政策室・コンサル等)
- ・議員の招待は省略するが、自主参加はOK (紹介のみ行う)
- ・一般住民・企業などはポスター掲示を見て応募のあった者20名以内

3. 会場設営

- (1) 東町会館2階集会室 (大・小全体)、床にカーペットを敷き土足入場可
- ・着席方式、12卓各2個のテーブル設置、テーブルクロス、飲食物
 - ・集会室廊下にテーブル設置、飲み物・器の予備を置く
 - ・自治会・団体の紹介用に中央前方に空間及びプロジェクター設置
- (2) 東町会館2階和室…コート置き場、乳幼児同伴者の休憩所

4. 飲食の準備

- ・大皿盛りオードブルと寿司90人(12卓)分…大丸ピーコックに発注
- ・乾き物は青葉 (買いにゆく)、ピザ10個を買いにゆく
- ・飲み物はいなご屋に一任、グラス120個付き
- ・食器・キッチンペーパー・箸はコーナンに買いにゆく

5. 企業への協賛金のお願いはしない、案内状は発送する

- ・セルシー商店会、北町地域自治協議会を追加

2015年1月10日 新春交歓会会場図 (縦10m、横12m)

